



2020年1月期 第3四半期
決算説明資料

株式会社SKIYAKI

証券コード：3995 / 2019年12月13日



連結業績ハイライト

3Q業績サマリー



(単位：百万円)

	2019年1月期 第3四半期	2020年1月期 第3四半期	前年同期比
売上高	2,820	3,552	+26.0%
営業利益	109	87	△20.5%
経常利益	96	81	△15.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	40	+11.9%

- ・ FCサービスの成長と(株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONの連結子会社化により、売上高が前年同期比で大幅に増加
- ・ 主に人件費への積極投資により販管費が増加し、営業利益及び経常利益は前年同期比で減少の一方で、最終利益は増加

3Q業績サマリー



(単位：百万円)

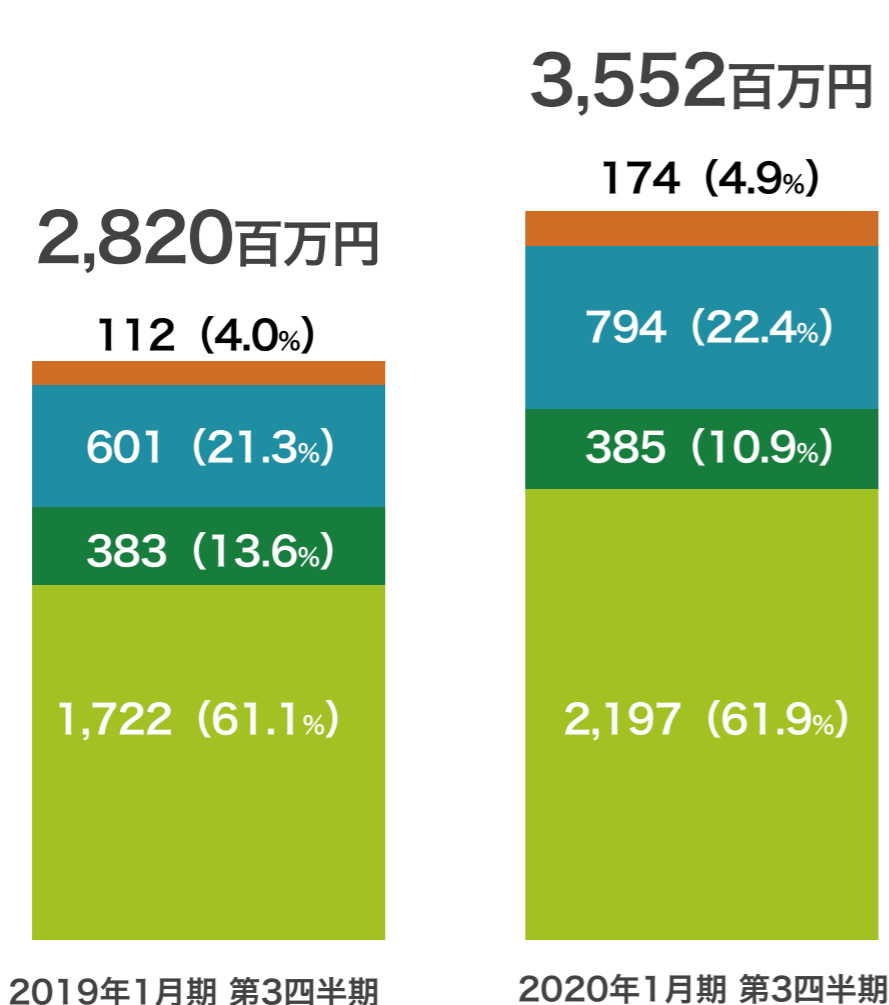
	2019年1月期 第3四半期 (累計)	2020年1月期 第3四半期 (累計)	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率	主な増減理由
売上高	2,820	3,552	732	26.0%	有料会員増加によるFC売上増+474百万円 (株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONライブ制作収入+193百万円 (前期は2Qより連結開始)
売上原価	2,010	2,533	523	26.0%	上記売上増に伴うFCロイヤリティ及びライブ制作原価等の増加
売上総利益	809	1,019	209	25.9%	
販管費	699	931	232	33.2%	
人件費	347	492	145	41.8%	エンジニアを中心に採用を強化し、連結正社員数15名増 その他連結子会社増加の影響等 (前期2Qに2社、前期4Qに1社増加)
回収手数料	177	203	25	14.5%	FC売上増に伴う決済手数料増加
その他	175	236	61	34.9%	業務委託費+25百万円、のれん償却額+9百万円、旅費交通費+9 百万円等、主に連結子会社増加に伴う経費の増加
営業利益	109	87	△22	△20.5%	
経常利益	96	81	△15	△15.5%	
親会社に帰属する 四半期純利益	35	40	4	11.9%	

サービス別売上高



FC EC ライブ制作 その他

(単位：百万円)



売上高合計
3,552百万円

前年同期比
+26.0%

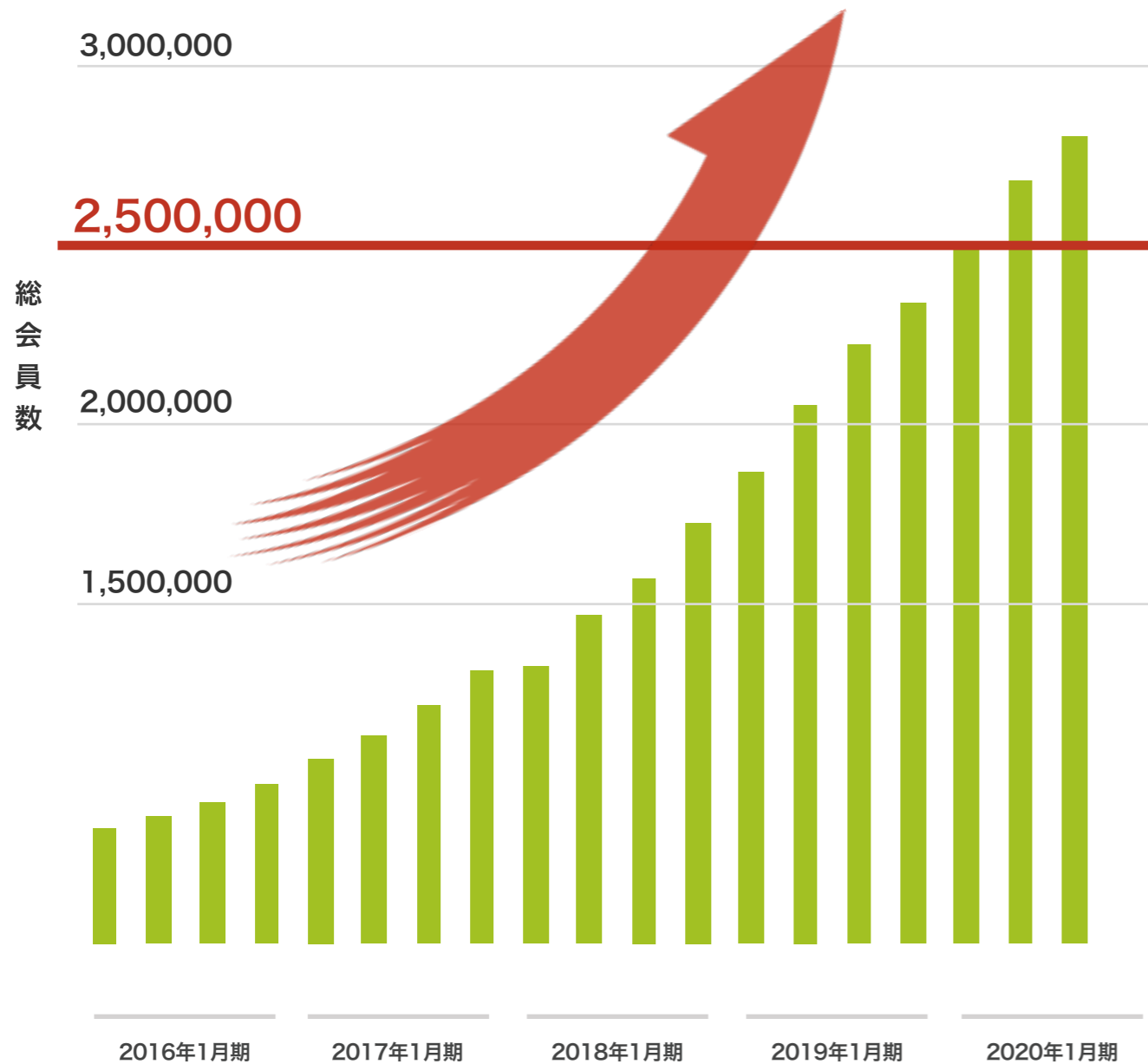
FCサービス
売上2,197百万円
前年同期比
+27.6%

ECサービス
売上385百万円
前年同期比
+0.7%

ライブ制作
売上794百万円
前年同期比
+32.1%

- ・ FCサービスは有料会員数が前年同四半期末比 +11.1万人 (+16.3%) と堅調に増加し、売上高が増加
- ・ ライブ制作事業を行う(株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONの前期2Qにおける連結子会社化により、売上高が増加

会員数



総会員数

※2019年10月末日現在

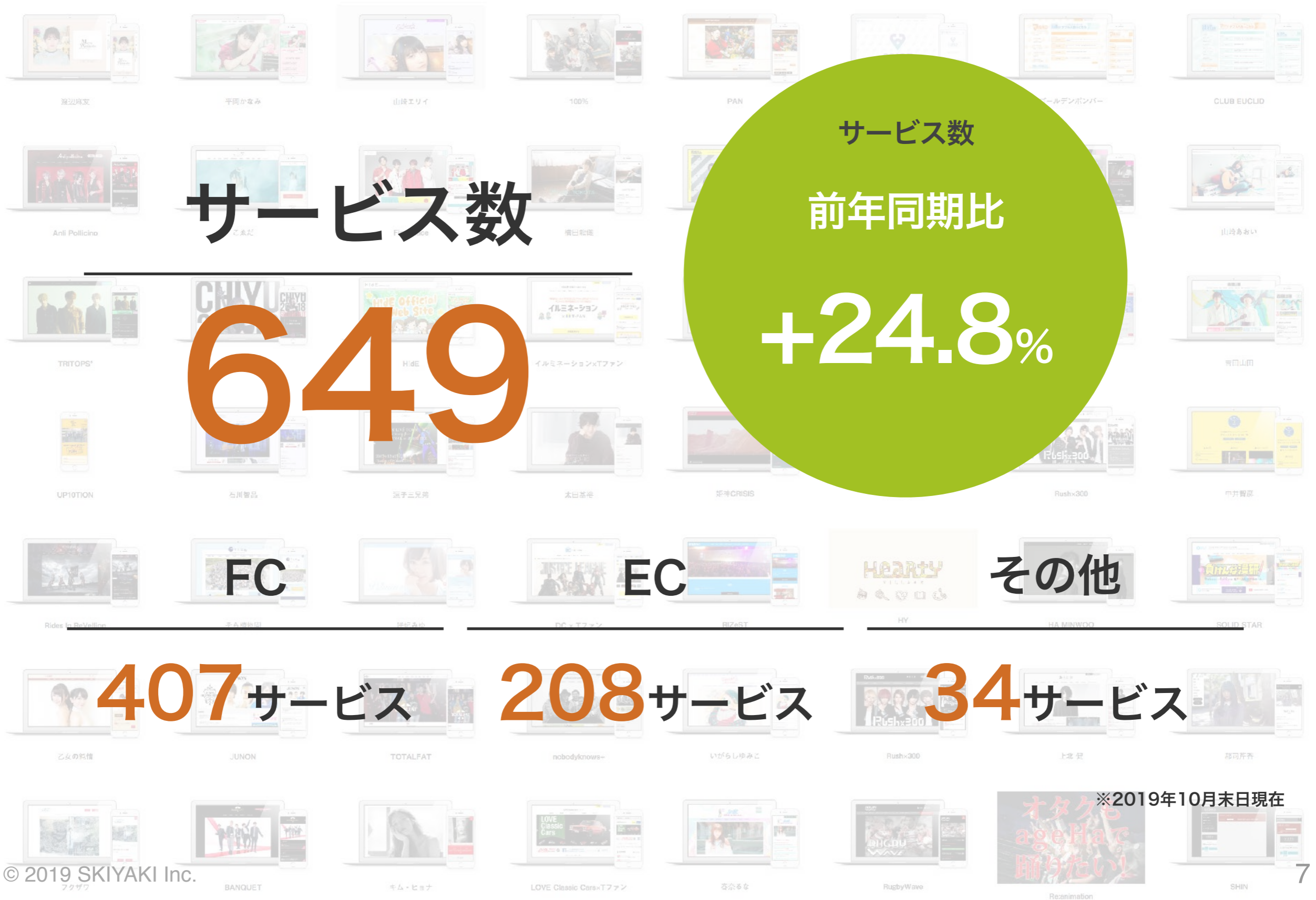
290.6万超

有料会員数

※2019年10月末日現在

79.4万超

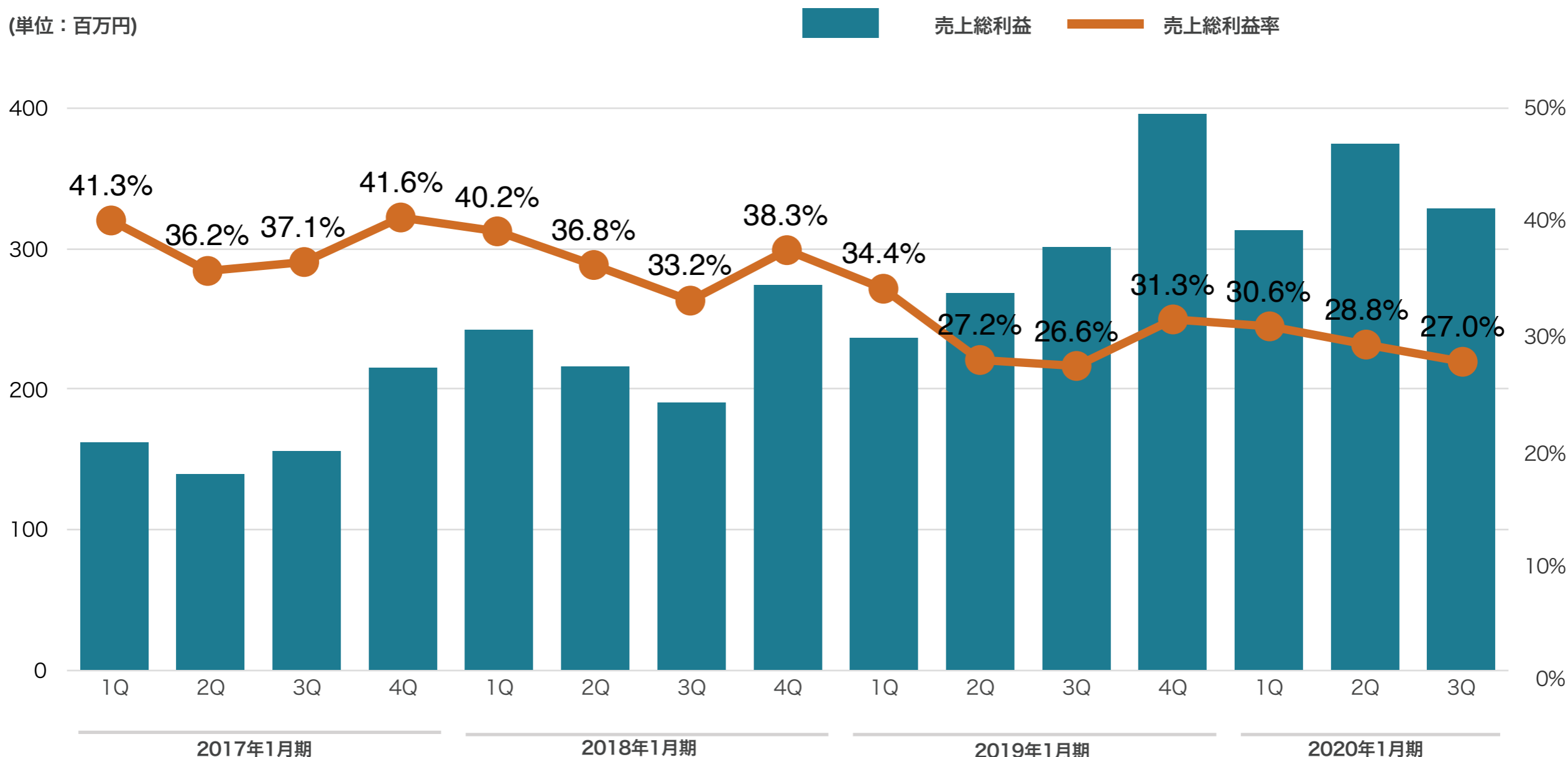
※総会員数とは、FC・ECサービス、AMIPLÉ、LiveFansの会員数の合計です。



売上総利益と売上総利益率の推移

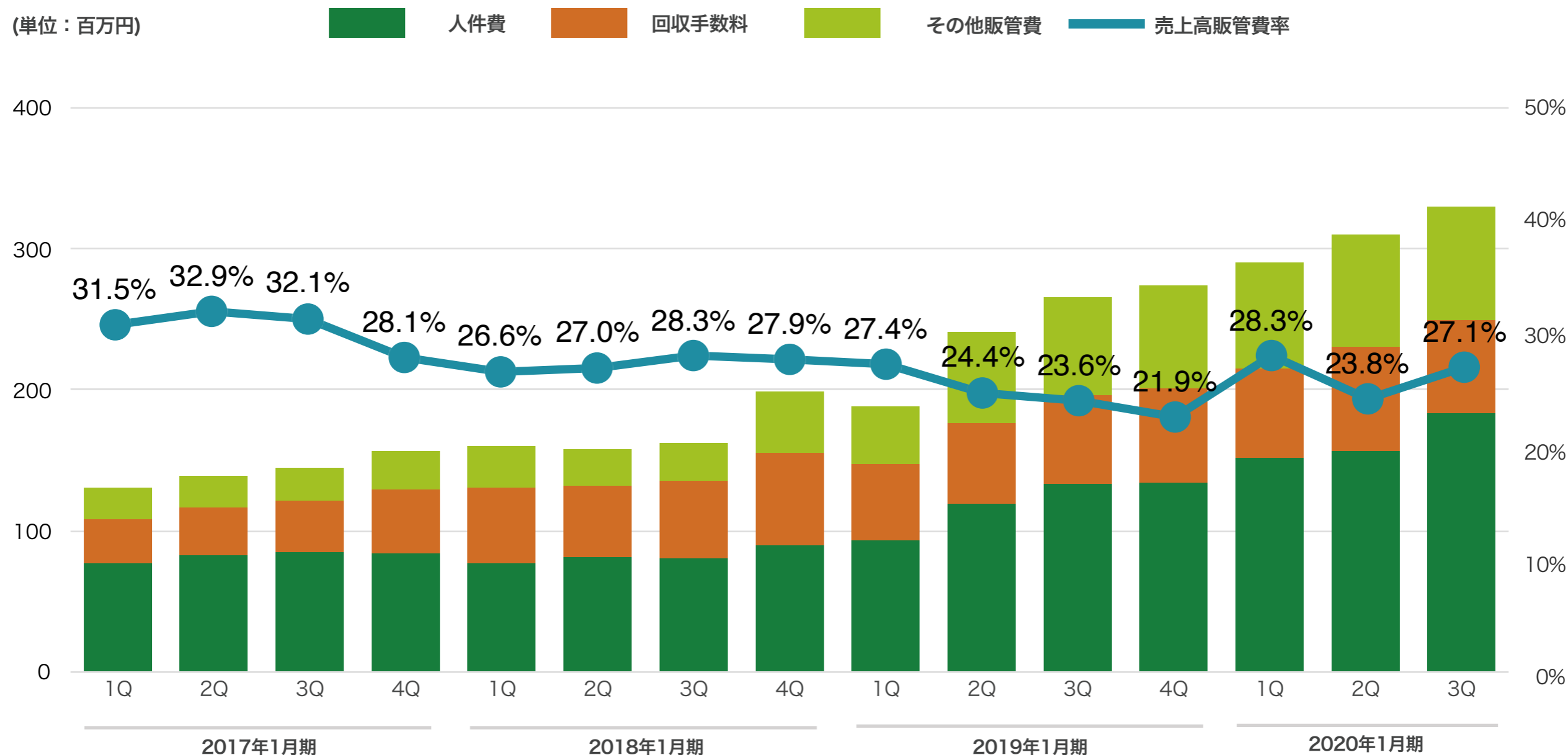


(単位：百万円)



- ・ 季節変動はあるものの、売上総利益金額は売上高の増加により継続して増加傾向にあり
- ・ ただし、当期3Q 会計期間（3ヶ月間）においては、ECサービス売上高が直前四半期比で30百万円減少（△19.6%）、ライブ制作事業の売上高が同57百万円減少（△17.3%）等の影響により、売上総利益金額が45百万円減少し、売上総利益率が低下（どちらも四半期ごとのボラティリティが大きい）
- ・ 例年、EC商品の出荷が増加する4Q会計期間に売上総利益が大きく伸びる傾向があり、通期では更なる利益計上を見込む

販管費と売上高販管費率の推移

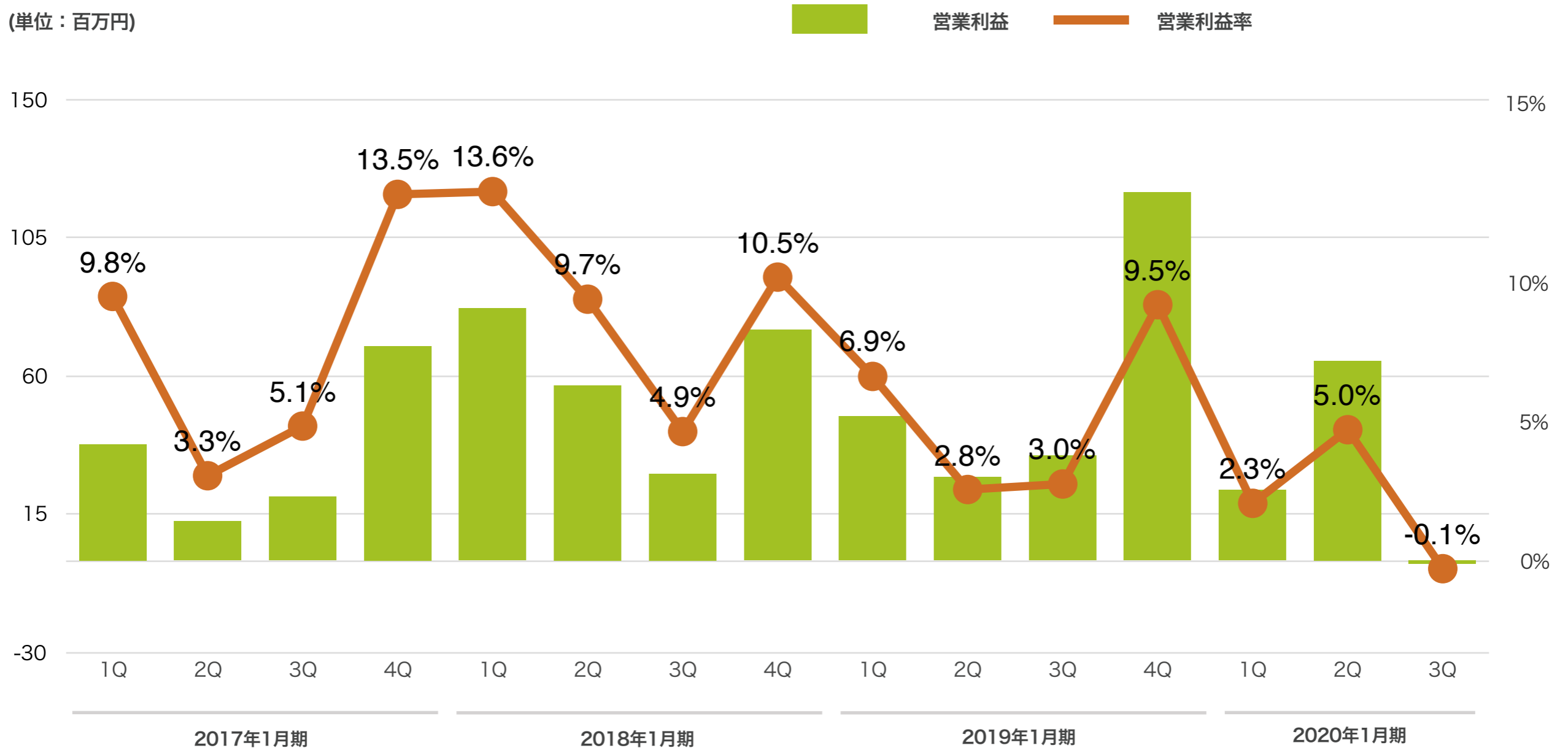


- ・ 当期2Qと比べて、グループ全体での積極的な人材採用及び昇給等により人件費が26百万円増加、ECサービス売上高の減少に伴い変動費である回収手数料が7百万円減少、その他経費が1百万円増加（合計20百万円増加、+6.5%）
- ・ 売上総利益の減少45百万円（△12.1%）に対して上記のとおり販管費が増加したため、売上高販管費率は直前四半期比で上昇（+3.3ポイント）

営業利益と営業利益率の推移



(単位：百万円)



- ・ 当期2Qと比べて、売上総利益の減少45百万円 ($\Delta 12.1\%$) に対して、販管費が20百万円増加 (+6.5%) したため、営業利益が65百万円減少
- ・ 例年、EC商品の出荷が増加する4Q会計期間に営業利益が大きく伸びる傾向があり、通期では更なる利益計上を見込む



事業戦略



bitfanをベースに、ファンクラブ・EC・チケットなど、 オムニチャンネルにサービスを展開

bitfan Pro (従来型)



- ・ 都度契約が必要なサービス
- ・ コンサルティング担当有り

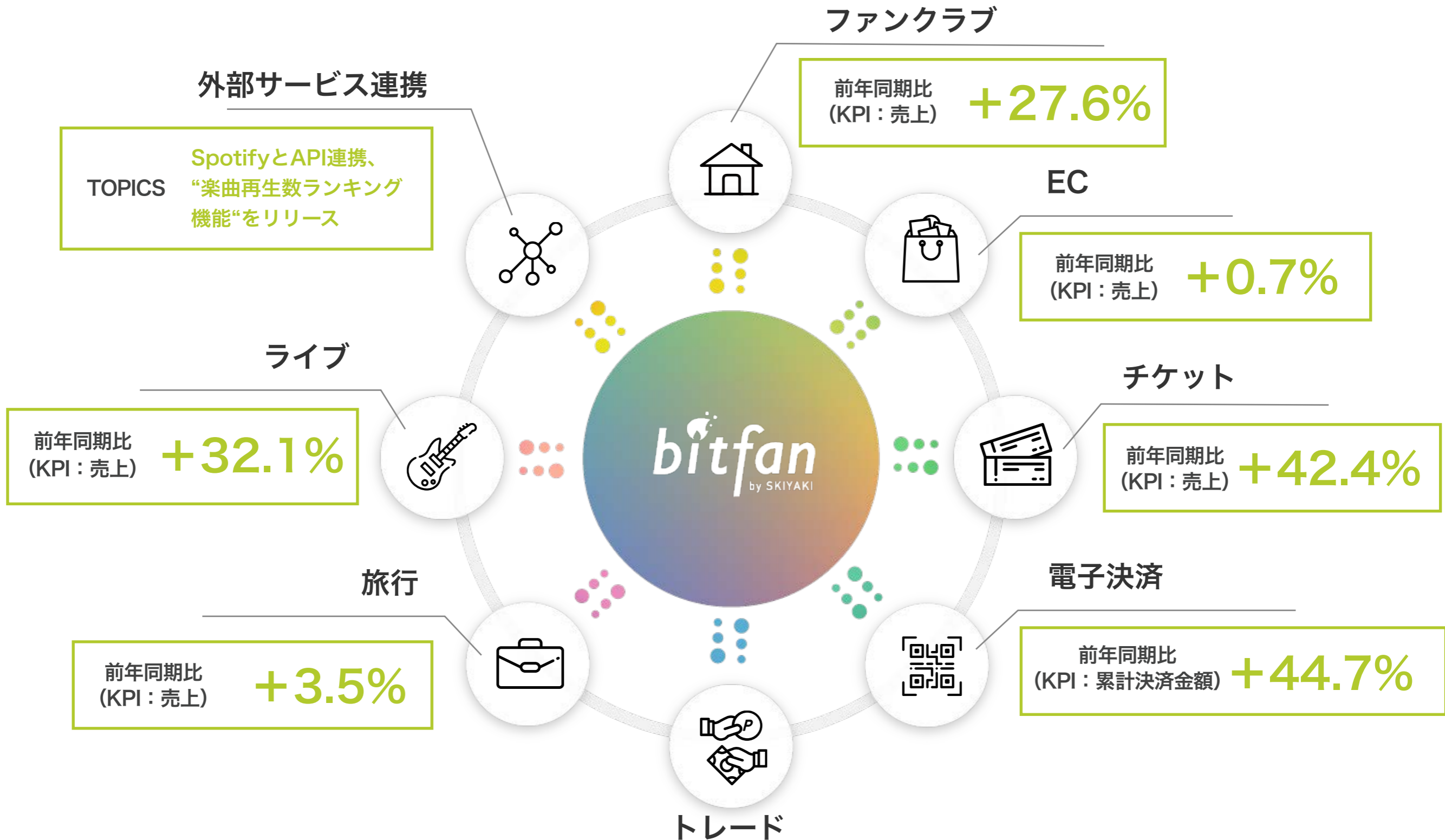
bitfan (オープン型)



- ・ 「誰でもすぐに」始められるサービス
- ・ セルフマネジメント型

ファンマーケティングプラットフォームの確立を目指す

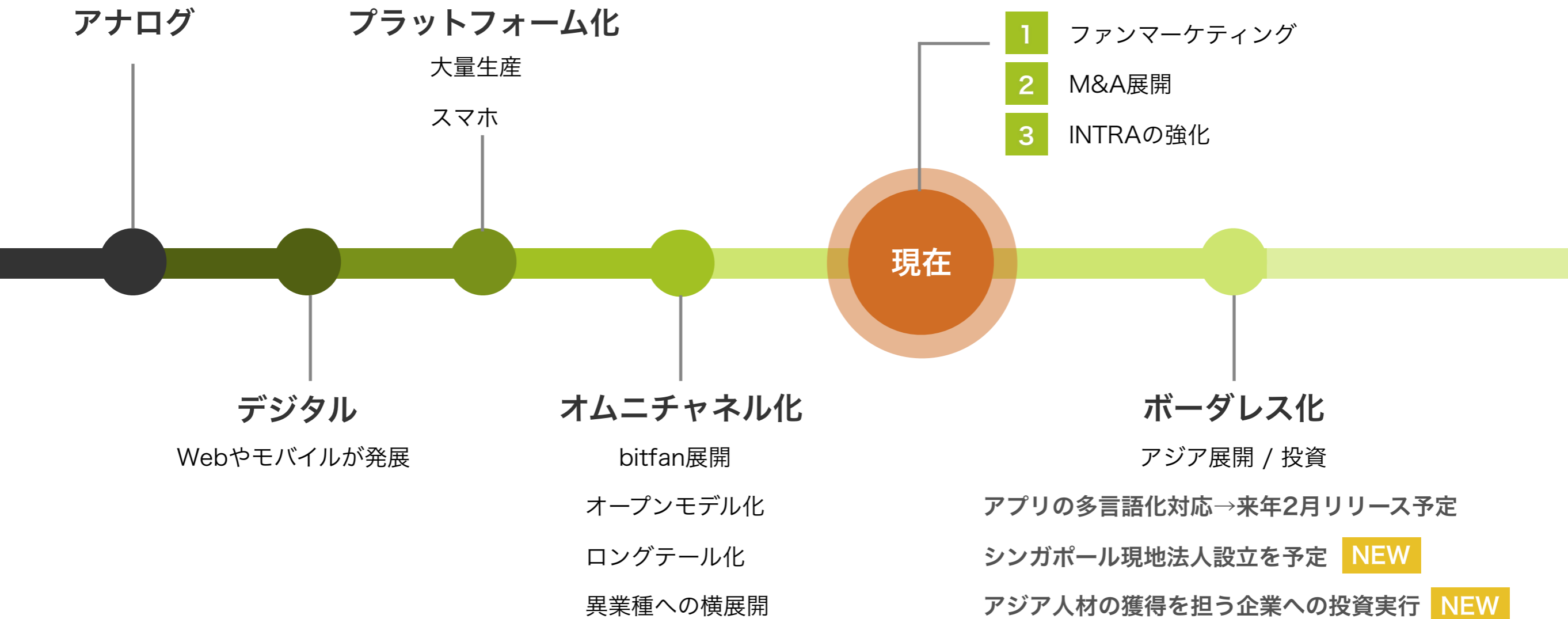
オムニチャネル展開進捗状況



ファンビジネス ロードマップ



時代の潮流に沿って集中と選択で事業を拡大 → 来期以降グローバル展開に注力



グローバルなファンマーケティングのリーディングカンパニーを目指す

サービスリリース進捗



ファンクラブ

bitfan Pro

- ・ 多数のファンクラブオープン
- ・ bitfanアプリに有料コンテンツ配信
- ・ bitfanポイント連携強化
- ・ プレイガイド用タグ埋め込み機能
- ・ DBの文字コード変更対応

bitfan Club

- ・ オーナー用投稿アプリのリリース
- ・ スケジュール機能のリリース
- ・ twitter自動投稿対応
- ・ オーナー管理画面リニューアル

bitfan Store

- ・ コンビニ決済対応
- ・ 匿名配送機能
- ・ ラッピング販売機能
- ・ 軽減税率対応



EC



チケット

SKIYAKI TICKET

- ・ HYDE全国ツアー等で継続利用中



電子決済

SKIYAKI PAY

- ・ 岡崎体育対バンツアーで継続利用中



その他

bitfan Analysis

- ・ 12月中リリース予定

【TOPICS】 今後のグローバル展開について



海外法人との連携を強化し、東南アジアでのbitfan普及を目指す

韓国（韓国法人と協業検討中）

- ▽有力韓流アーティストの発掘
- ▽韓国内でのbitfanプロモーション
- ▽韓国人材の日本への橋渡し

日本（SKIYAKI）

- ▽国内コンテンツの海外発信
- ▽海外コンテンツの国内発信
- ▽アジア人材の積極採用

シンガポール（SKIYAKI 65）

- ▽東南アジアでのbitfanプロモーションのハブ



事業トピックス



bitfan Pro サービスリリース



今期累計で144件のサービスをリリース

菓子メーカー「マスヤ」
おにぎりせんべい



菓子メーカー「マスヤ」と「bitfan」のコラボによる 史上初の取り組みが始動。企業系ファンクラブとして、エンタメ性の高いファンコミュニティサービスとしてオープン。

レジェンド
シンガーソングライター
さだまさし



「関白宣言」「北の国から」など数々のヒット作をもつ、キャリア46年を迎える日本を代表するシンガー・ソングライター「さだまさし」のデジタルサブスクサービスがオープン。

女子バレーボールチーム
AIRYBEES



デンソー女子バレーボールチーム「AIRYBEES（エアービーズ）」の公式ファンクラブにbitfanを導入。

上原浩治、畠山愛理
スポーツボックス



上原浩治、畠山愛理ほかトップクラスのアスリートが所属するマネジメント事務所「スポーツボックス」のポータル&会員サイトを開設。

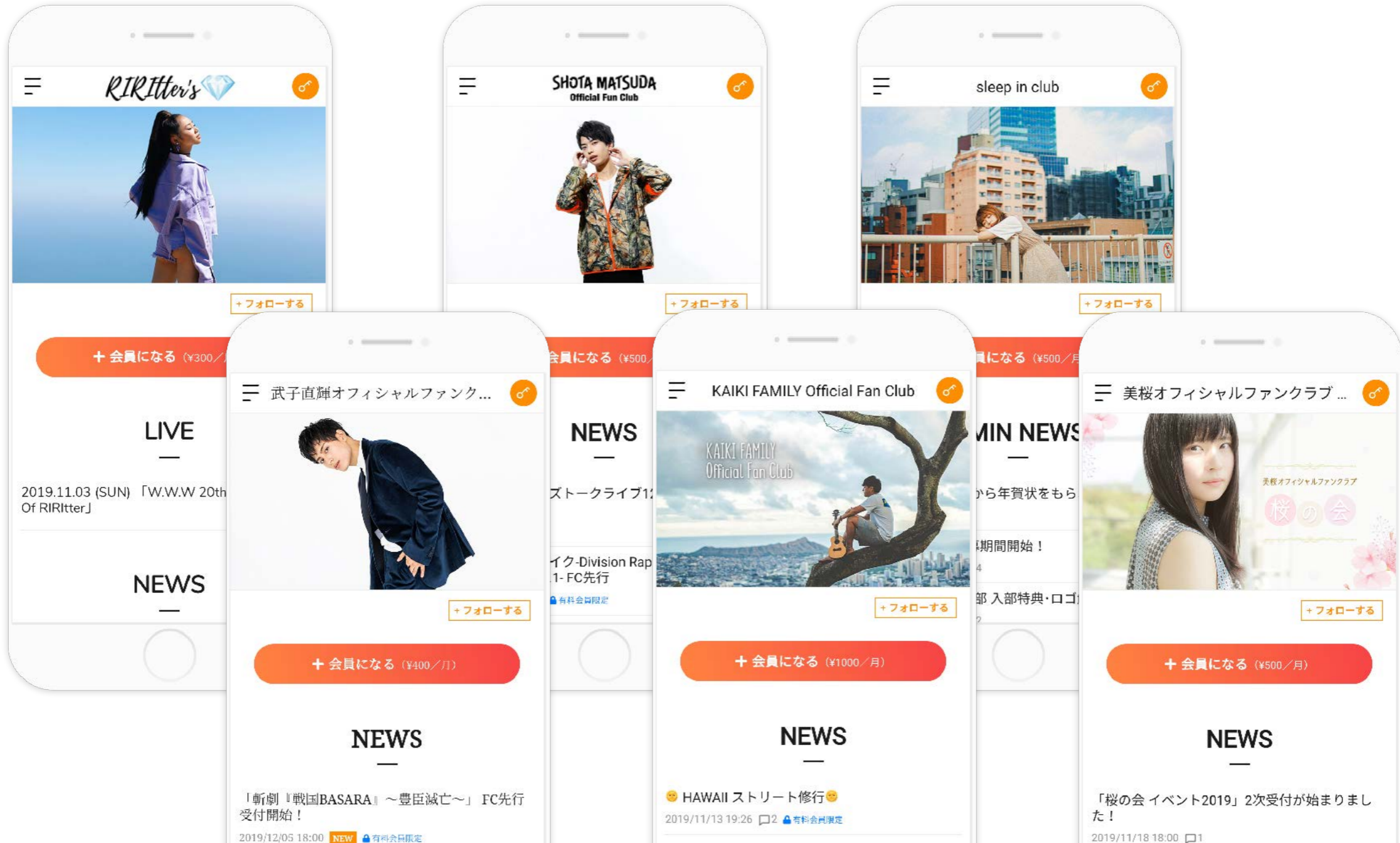
2020年1月期3Q（2019年8月1日～2019年10月31日）実績



bitfan Club のオーナー拡大



オープン版bitfanも順調にオーナー拡大





bitfan Club の新機能リリース



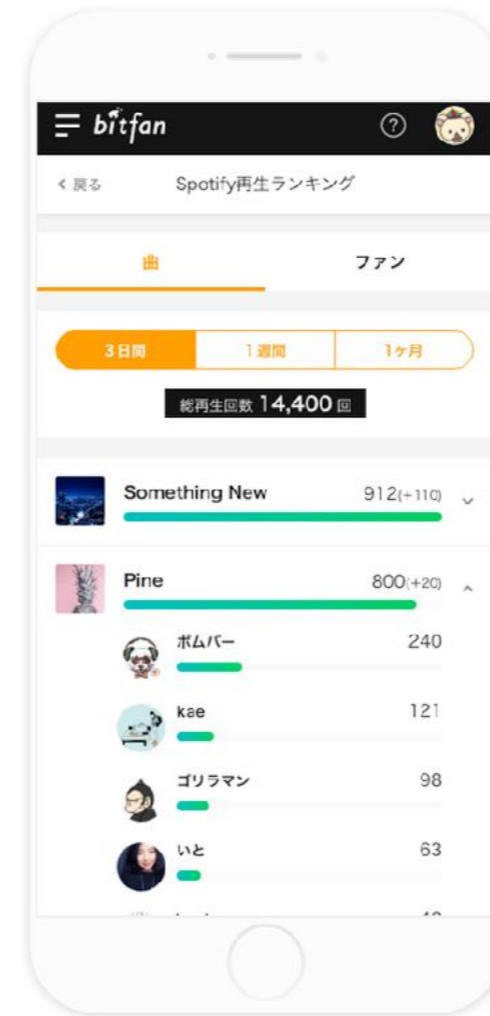
オーナー用投稿アプリのリリース

動画や画像をより更新しやすいサービスに。オーナー専用アプリをリリース (iOS/Android)。Twitter自動投稿にも対応。



Spotify連携強化

オーナー向けにフォロワーの Spotifyでの再生数ランキングを提供開始。



スケジュール機能

bitfan Proでニーズの高い機能を順次リリース。現在、アンケート機能や会員証を開発中。



※iOSは公開申請中



bitfan アプリを大幅リニューアル予定

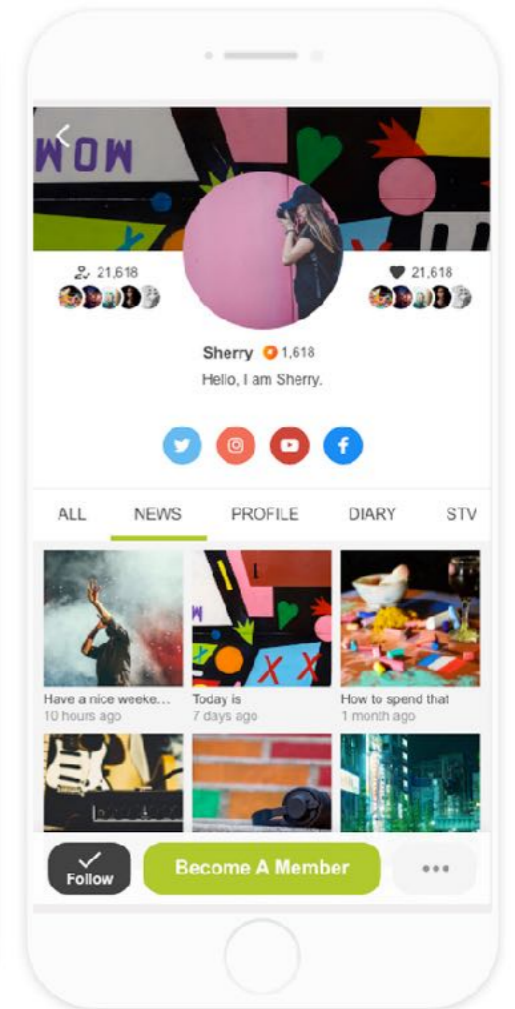
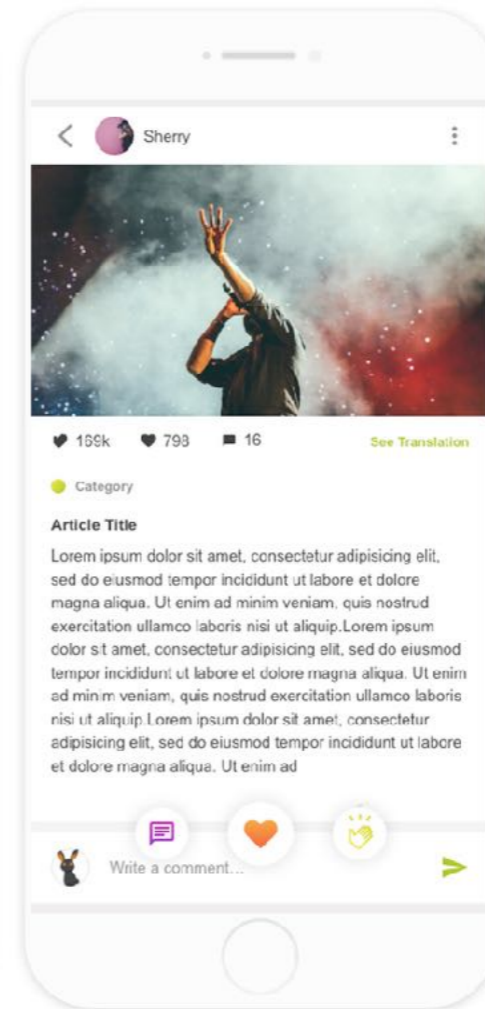
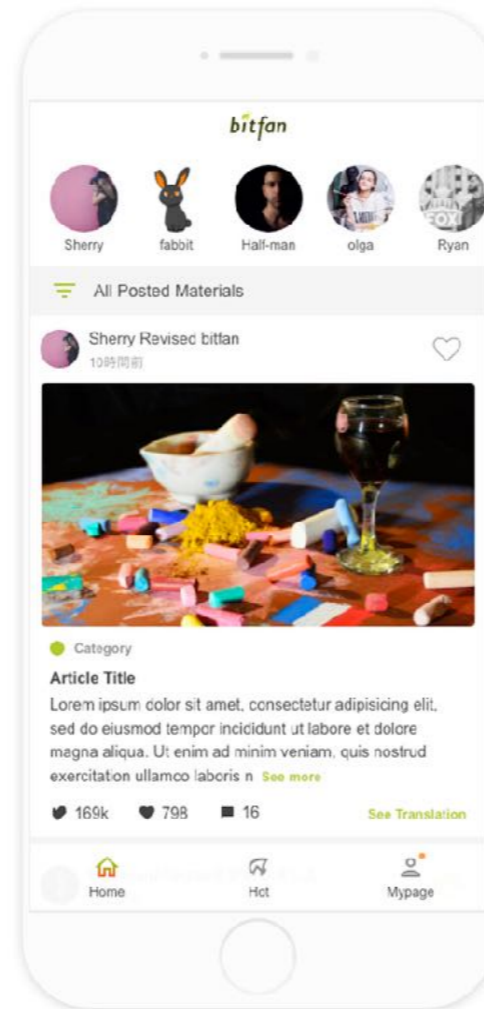


オープンモデルのbitfanアプリが、アジア展開へ向けて2020年2月に大幅リニューアル。

主要機能

- ・ 海外へアプリ配信
- ・ アプリ決済対応
- ・ SNS連携の強化
- ・ 自動翻訳機能

bitfanオーナーの世界展開を支援し、より多くのファンの獲得とマネタイズを可能にします。



※開発中の画面



bitfan PASS を12月中にリリース予定



bitfanプラットフォームに、新たな電子チケット&決済サービスをリリース予定

(※スマホ決済は2020年のリリースになります。)

 SKIYAKI TICKET

 SKIYAKI PAY



スマホ決済

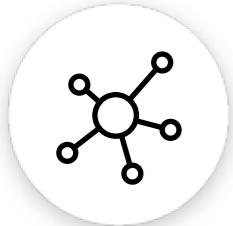


イベント検索



チケット購入

bitfanIDで、チケット販売からスマホ決済までが利用可能。
1つのアプリで来場者データから会場物販データまでを取得出来る
新世代のライブエンターテインメントソリューションです。



bitfan Analysisを12月中にリリース予定



ファンの行動を分析し、ファンマーケティングを実現するツールを
テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社と共同リリース



会員数/売上/ファンの拡散力/
SNSでのエンゲージメント などのデータ



×



AIエンジン



bitfan Analysis

12月
リリース予定



プロモーション分析



ユーザー行動分析



時系列分析



ベンチマーク分析



SNS、Spotify分析

世界初、ファンの熱量データを活用したマーケティングの実現



グループ会社関連



日本を代表するコンサート・イベント制作会社



＜主な制作・運営実績＞

伊勢正三、稲垣潤一、イルカ、岩崎宏美、岡本真夜、加藤登紀子、田原俊彦、平原綾香、森山良子、矢野顕子

2020年1月期3Q ※	イベント開催数	動員数	取扱アーティスト数
	61回	5万6,640人	20アーティスト

※1 2020年1月期3Q (2019年8月1日～10月31日) 実績



梶浦由記 Fiction Junction Station Official Limited Tour in Taiwan

- ・ 「Yuki Kajiura LIVE TOUR vol.#15
～The Junctions of Fiction 2019
～」 Asia Tour開催に伴う会員限定の台
湾ツアー



DaizyStripper GREAT ESCAPE TOUR in 北海道 2019

- ・ DaizyStripper会員限定販売「GREAT
ESCAPE TOUR of in 北海道 2019」

2020年1月期3Q (2019年8月1日～10月31日) 実績



AMIPLE (アミプル)

ライブコンサート、フェス、スポーツ観戦などのイベント同行者を探ることができるSNSです。

会員数

登録イベント数

7万1,000人

28万件

アプリダウンロード数

10.9万ダウンロード



LiveFans (ライブファンズ)

国内最大級の音楽ライブ情報サービス。89万件を超える公演情報や約25万件のセットリストのデータが集まっています。

ページビュー

月間UU数

1,400万PV

210万人

アプリダウンロード数

71万ダウンロード



ecele (えくる)

街コンをはじめとするリアル交流イベントを首都圏を中心に年間約500開催展開しています。

会員数

累計開催数

2万1,000人

5,500回

累計参加人数

35万人

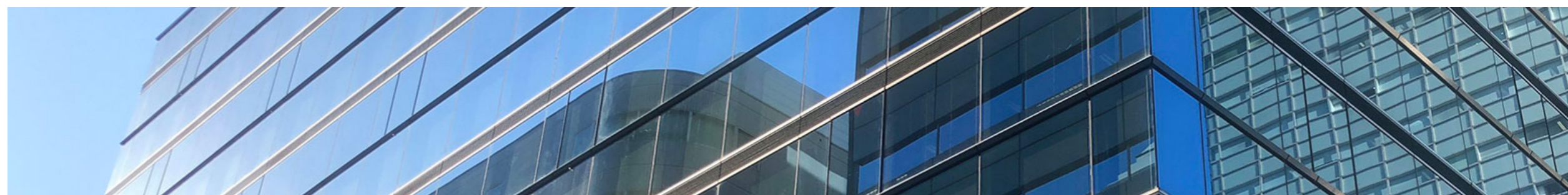
※ PV数、UU数はブラウザ+アプリの合計で、期中最高値です。 ※ アプリDLは、iOS+Androidの合計です。 ※ 2019年月10末日現在

会社概要



会社名	株式会社SKIYAKI (SKIYAKI Inc.)
本社所在地	東京都渋谷区道玄坂1-14-6 ヒューマックス渋谷ビル 3F
設立	2003年8月
資本金	576百万円 2019年10月末現在
連結従業員数	88名 2019年10月末現在
主な株主	カルチュア・エンタテインメント株式会社

役員構成	代表取締役 宮瀬 卓也 取締役 戸崎 勝弘 取締役 酒井 真也 取締役 小久保 知洋 取締役 那須 淳 取締役 菅沼 博道 取締役 (監査等委員) 豊田 洋輔 社外取締役 (監査等委員) 井上 昌治 社外取締役 (監査等委員) 近田 直裕
関係会社	連結子会社 株式会社ロックガレージ 株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTION 株式会社SKIYAKI APPS 株式会社SEA Global 持分法適用関連会社 Remember株式会社 株式会社3DAY 株式会社コンテンツレンジ



本資料の取り扱いについて



- ・ 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・ 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般的に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・ 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示原則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- ・ なお、本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

